

とやま生活協同組合

サステナビリティ レポート 2023



とやま生協 SDGs宣言

とやま生協は、環境保護、社会的包摶、経済成長の3つの主要素の調和を大切にして持続可能な社会を目指し、事業・活動を通して組合員とともに17の目標達成に貢献していきます。

1

事業・活動を通して、
温室効果ガス削減に
取り組みます。



2

助け合いの組織として、
平和で公正な社会づくりを
進めます。



3

組合員とともに
エシカル消費、食品ロス削減、
リサイクル活動に
取り組みます。



とやま生活協同組合

温室効果ガス削減の取り組み



2050年のあるべき姿として2013年度対比90%削減を達成するために、中期目標として2030年までに2013年度対比40%の温室効果ガスを削減する「2030温室効果ガス削減計画」を策定し取り組みました。



新要冷物流センターの太陽光発電

プラスチック削減の取り組み

環境や社会に配慮した取り組みは、プラスチック問題への対応としてボトルの改良やラベルの縮小またはラベルをなくすなどの改善で容器のプラスチック使用量を削減した商品の取り扱いをすすめてきました。2022年度のコープ商品によって削減されたプラスチックは、利用が606,356点あり削減量は8,305kgでした。



ラベルのないただの炭酸水

せいきょうの
森づくり

せいきょうの森でとやま生協誕生を記念してクリの木3本を植樹し、14名が参加しました。植樹後は、以前植樹した木々の雪囲い、枝の剪定、施肥などのメンテナンスをしました。



とやま生協誕生記念植樹

環境学習会



9月に生物多様性を学ぶ環境学習会を開催し、親子12組33人が参加しました。学習会では水辺の生き物観察や採取した生きものについてナチュラリストから解説を受け、魚や昆虫の採取体験を通して、種の多様性を実感し命のつながりについて学びました。



海岸クリーン作戦

マイクロプラスチック調査



毎年恒例となっている富山県生協連合会主催「海岸クリーン作戦」には、組合員、役職員を中心に県内の協同組合や関連団体、地域住民の方など2会場で511人が参加しました。2会場ともゴミ拾いと並行して「マイクロプラスチック調査」も実施し、硬質プラスチック破片、シート状破片、肥料カプセルなど種類ごとに分別し集約しました。



海岸クリーン作戦

ゼロカーボンアクション



温室効果ガス削減につながる行動「ゼロカーボンアクション」に示された行動の中から、1日につき1項目選択し1週間挑戦しました。325世帯727人が参加し、取り組まれた内容の1位は「マイバッグ・マイボトル持参」、2位は「シャワーや水道をこまめに止める」、3位は「食事を食べ残さない、食べられる量だけ注文する」となり、今回の取り組みで約1.3tのCO₂が削減できました。

平和で心豊かな地域社会を創るため、平和署名や学習会を開催しました。また助け合い組織として、開発途上国や紛争等で支援を必要としている子どもたちや自然災害で支援を必要としている人々に対し募金を行いました。

平和で公正な社会づくり



平和活動



8月に平和署名「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」を実施し、2,941筆の署名が寄せられ、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）に送付しました。8月31日には憲法をテーマに平和学習会を開催し38名の参加がありました。ブロックでは、「平和についての講演会」（富山大空襲について）、劇映画「沖縄」上映会を開催し合わせて33名の参加がありました。



平和についての講演会

国際支援



ユニセフ指定募金とハンガーフリーeworldの取り組みを進めました。また2つの緊急募金にも取り組み、2022年度の募金合計は11,411,976円でした。



トルコ・シリア地震救援金贈呈式

募金名	人数(人)	金額(円)
ユニセフ指定募金	1,534	778,647
ユニセフウクライナ緊急募金	4,814	3,304,110
トルコ・シリア地震緊急募金	6,619	7,329,219
合計	12,967	11,411,976

SDGsとは

とやま生協は、「誰も取り残さない、平和で心豊かな地域社会」を創るために、組合員、職員、地域と協同しながら事業・活動を進めています。「誰一人取り残さない」というSDGsが目指す姿は生協の理念と重なり、また協同組合（生協）はSDGsを実現するための重要なパートナーとして位置づけられています。SDGsは経済成長、社会的包摂、環境保護という3つの主要要素の調和が欠かせません。とやま生協はこれらの3つの主要要素の調和を大切にして持続可能な社会を目指し、事業・活動を通して17の目標達成に貢献していきます。



エシカル消費、食品ロス削減、リサイクル活動



組合員とともに取り組む活動として、エシカル消費の推進、フードドライブなどの食品ロス削減、牛乳・卵パック、商品カタログなどのリサイクルに取り組みました。

エシカル消費 関連商品の普及



配送担当者を対象に「COOPやわらかワントッチコアノンS」「コープヌードル」「COOPティッシュ・パルプロール」の商品学習会を開催し、のべ260名が参加しました。「COOPやわらかワントッチコアノンS」では、製造工程、コアノンを通した社会的取り組みについて学習しました。またメッセージカードでエシカル消費と対象商品の案内を行いました。エシカル消費対象商品の供給高は、14億1,500万円で計画比113%でした。



エシカル消費 啓発クイズ



みなみ店エシカルクイズコーナー



フードドライブ（みなみ店）

フード ドライブ

多くの組合員にフードドライブの取り組みを知ってもらおうとみなみ店や各ブロックの生協まつり3会場でパネル展示・告知を行い、組合員・職員237人から392.7kgの食品を提供いただきました。フードドライブで寄せられた食品はフードバンクとやまと連携し、社会福祉施設、子ども食堂、社会福祉協議会などにお届けしました。今回食品等をお届けした社会福祉施設の推薦を受け、(公社)富山県善意銀行・富山県親切運動本部より顕彰されました。

リサイクル

持続可能な社会づくりをめざし、資源の有効活用のためリサイクル活動に取り組んでいます。配達時に回収している物は、生協のカタログ、卵パック、牛乳パック、食品トレイ、通い箱の内袋・注文書袋です。

回収物	回収量(t)
カタログ	2,274
内袋・注文書袋	85.8
牛乳パック	16.7
卵パック	5.7
食品トレイ	2.1



とやま生活協同組合の紹介

配送センター

- ① 北部センター
- ② 富山センター
- ③ 西部センター
- ④ 砺波センター
- ⑤ 東部センター

事務所

- ⑥ 本部
- ⑦ 堀川事務所

物流センター

- ⑨ 農産物流センター
- ⑩ 要冷物流センター

福祉事業所

- ⑪ デイサービスセンターまる～な
- ⑫ ヘルパーステーションまる～な
- ⑬ ゆとり～な
- ⑭ 輝ゆとり～な
- ⑮ 輝くろべ
- ⑯ 輝 城東

店舗

- ⑧ みなみ店

